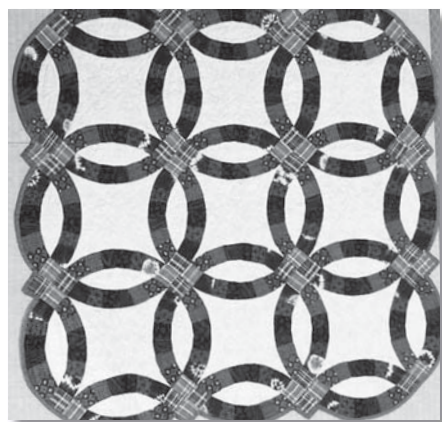
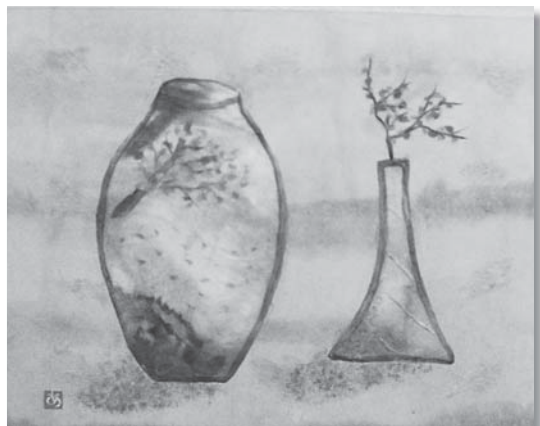
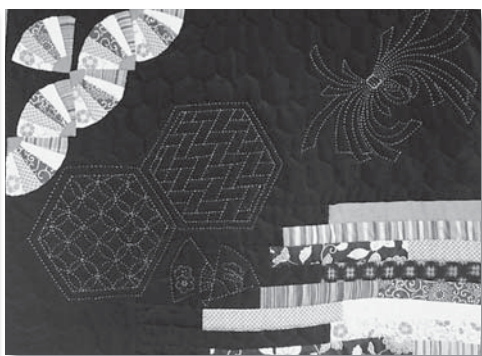


### 組合員の作品



パッチワーク  
みい西支部 茶畑 麗子



ちぎり絵  
守口東支部 中西 昭夫

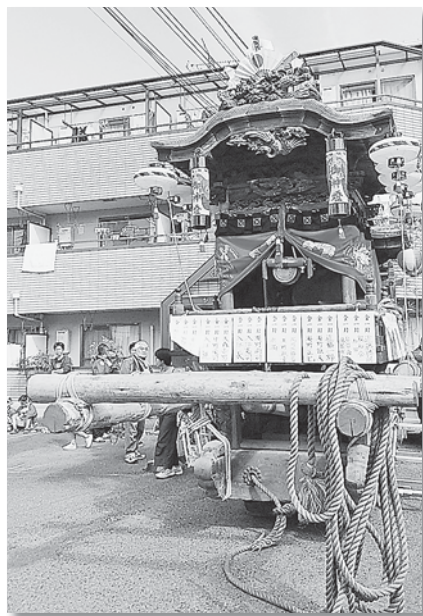


写真  
春日神社 秋祭り(寝屋川市国松町)  
みい西支部 柴 敬子

### 俳句

一と仕事了え爽やかに飲むコーヒー  
電子辞書座右に作句冬灯

みい西支部

菅原 昌子

### 短歌

秋祭り五人の少年鹿子の舞い過疎なる故郷少女の混じる

門真中央支部

兵頭 克己

決られし肉魂に見ゆる米粒を医師指し示す「リンパ節です」

門真西支部

遠藤 彰

夕間暮れ煙一すじ流れ来てこの山峡に人住むを知る

守口さつき西支部

木下 一

卒寿の母は白内障の手術終え翌日さっそく台所に立つ

守口さつき西支部

酒井八重子

### 「たび」のおまけ

### 伊根町・おまけは玉手箱

北近畿鉄道天橋立からバスに揺られること約50分、伊根湾をめぐる遊覧船のりば「日出」バス停に到着。



遊覧船のあとをついて飛ぶカモメの群れ

翌朝は路線バスに乗る丹後半島をさらに北上、約25分で浦嶋神社に到着。

浦嶋神社の祭神は浦嶋子です(浦嶋神社の葉より)。宝物館では宮司夫人が神社に伝わる「浦嶋明神縁起」の掛軸(室町時代の作)を使って浦嶋伝説をユニモアもまじえ興味深く説明してくれました。

浦嶋子は釣りをしている五色の大亀を釣りあげます。嶋子が居眠りをしている間に大亀は美しい乙女になり二人で常世の国の宮殿に行きました、とさ。

子供にいじめられていた亀を助けたという、私たちが聞かされてきた浦島太郎の話とはすいぶん内容が違います。

最後に宮司夫人は「これが玉手箱です」と布を取り払い黒っぽい箱を見せてくれました。玉手箱(室町時代の作)の中身は櫛やお歯黒の用具などで当時の化粧箱でした。おまけに玉手箱がついた、どこまでもメルヘンチックな丹後半島の旅でした。

門真南支部

福山 斌尋



伊根湾の舟屋風景

30分のメルヘンチックな遊覧でした。舟屋を改造した民宿に宿をとりました。夕食はタイの塩焼き、ヒラメの煮魚、ハマチ・ブリ・タコ・サザエの造りと新鮮な海の幸たっぷり。